メイプル

カナダと日本を結ぶコミュニケーションプレス

東北

VOL.6

ディビット・ソルツ(DAVID SUIZ)さんは、この8月から、宮城県の東和中学校で英語指導助手をされています。カナダとゆかりの深い東和町には、以前にも何度か遊びに来たことがあるそうで、町の皆さんも親切で温かく、今回も自分から希望して赴任されたそうです。

『百聞は一見にしかず』(百聞は一体験にしかず)という言葉が大好きで、実際にいろいろなことにチャレンジしてみたいと話してくれました。

この日は、中学校の運動会でディビット先生も生徒の皆さんと一緒に走ったり、地域の皆さんとゲームに興じたり、いい汗を流していました。生徒さんにも人気がある楽しい先生です。

NEWS

日本とカナダを結ぶ、友情の架け橋

▼講演会で熱弁をふるう東北学院大学成沢義雄さん

平成5年度 定時総会が開催

7月14日、仙台市において東北日本カナダ協会平成5年度定時総会が開催されました。議事に先立ち当協会玉川会長は、「国際化が進む中、仙台空港をはじめとして国際定期便やチャーター便が増加し、東京を経由することなく、各県・市町村において海外との直接的な交流の機会が増大しております。本年夏には、仙台空港発着でカナダへのチャーター便が予定されており、ますますカナダが近くなります。東北とカナダのより強いパートナーシップの推進に向けて、会員の皆さまのご協力をお願いしたい」と挨拶されました。

5年度も、講演会の開催ならびに相互交流に関するイベントの開催・後援など積極的に活動していくこととしています。

定時総会終了後、東北学院大学教養部教授成沢義雄氏の「国際化が問いかけるもの」と題する記念講演会が開催され、実体験を通した国際化の問題点やこれからの課題などを話されました。

▲懇親パーティは終始なごやかなムード

▲挨拶をする玉川会長

▼PRセンター前での記念スナップ

女川見学会

5月19日、カナダと友好関係にある宮城県女川町を仙台育英学園の留学生など約30名の会員が訪れました。当日は、東北電力の女川原子力PRセンターや発電所の施設を訪問し、原子力発電のしくみやその安全性などの説明を受けたあと、発電所の運転を集中的に監視している中央制御室や運転訓練センターを見学しました。参加者は、疑問点などを積極的に質問したり、熱心に説明を聞いていました。

このあと、女川町の小高い丘にある崎山公園のグレイ大尉（第二次大戦に女川空襲で戦死したカナダ人パイロット）の記念碑に献花し、地元の方々との交流を深めました。

▲異国の地に眠る大尉にカナダの若い風を

駐日カナダ大使 キャンベル氏が新任

先頃、カナダ大使に就任されたドナルド・ウィリアム・キャンベル(Donald William Cambell）氏は、1940年12月オンタリオ州ドレイトンのお生まれです。

ウォータールー大学学士号・カールトン大学大学院で、経済学・政治科学や国際関係論を学ばれた後、これまでケニア、英国、ジャマイカ、米国、韓国の各地に在勤の経験があります。また、外務省、エネルギー・運輸・科学局長や外務上級審議官、国際貿易担当次官などを歴任され、この4月から駐日カナダ大使に着任されました。

キャンベル氏は、現在、奥様とご子息とご一緒にお住まいです。趣味は、山登り・散歩・読書・ジャズ等の音楽鑑賞と幅広く、特に山登りについては、日本にはいい山がたくさんあるので、是非、在職中にいろいろ登ってみたいそうです。

▼オープニングセレモニーでのテープカット

カナダフェアが開催

仙台駅2階コンコースにて、5月8日から15日までカナダフェアが開催されました。これは、8月にJR東日本が仙台空港からカナダへの直行チャーター便を運行することを記念して行われたもので、マルチビジョン映像と写真パネルでカナダの美しい自然を紹介したほか、カナダの特産品を展示・販売しました。

フェア初日のオープニングセレモニーには、カナダ大使館・参事官デビット・ウィン氏が来仙されるなど、たくさんの方が参加されました。また、最終日に行われた抽選会では、期間中のアンケートに応えた方(総数6,481名)の中から1名の方にカナダ旅行をプレゼントされました。

▲連日好評、たくさんの方がみえました

▲ワクワクドキドキの抽選会、カナダ旅行はだれの手に

REPORT

カナディアン・ロッキーでキャンピングする

個人会員 ㈱キュリオス　尾張 浩昭

夏のカナディアン・ロッキーを訪れるとまず驚かされる（感動する）のは、ハイウェイを悠悠と走る大型のキャンピングカー。

乗用車より多いのではとさえ感じてしまう多種モデルのキャンピングカーの数々は、普段見ることのない我々にとっては新鮮にうつり、バックの壮大な山々にマッチし〝カナダらしさ〟を見事に演出している。

総勢9人。自称〝日本のアウトドアズ〟がそろっての7泊8日―「カナディアンロッキーキャンピングツアー」―は、『やっぱりスゲエ～！ホンモノだァ～!!』という溜息やら興奮やらが入り混った叫び声からはじまった。

▲我々の〝足〟となり〝宿〟となったキャンピングトレーラー

キャンピングトレーラー（乗員10名、宿泊6名）をフル・レントし、現地コーディネーター、食事用コックとともにカルガリー～バンク～ジャスパー～エドモントンとロッキーを南から北へ移動しながら各地のキャンプ場に宿泊する。

行く先々ではハイキング、ラフティング、カヌー、乗馬etc…とアウトドアレジャーを体験しキャンプ場にもどっては、その日のメニューを決めみんなで食事をつくり焚火を囲んで満天の星空の下、お喋りを楽しむ。

▲食事のメニューはみんなで決め、みんなでつくるのが楽しい

すべてが手づくりのこのようなプログラムは、豪華なホテルに泊って、毎日フルコースディナーで…という旅派にはちょっとむかないかもしれないが、自然を身近に感じるには最高のハズ（カナダに行って自然をエンジョイできないなんてもったいない!!）

〝リアル・カナダ〟をエンジョイしたいなら絶対にキャンピングがおすすめ！現在すでに冬、春、夏…と新しいプログラムを企画中。

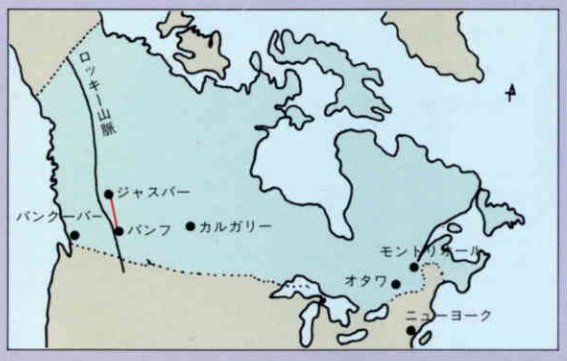
カナダ大好きのみなさん…一緒にカナダの大自然をエンジョイしませんか!!

ロッキーの大きさを表現するとこんな感じ？（ヨーホー国立公園にて：筆者）

カナダ自然紀行

出会いが新鮮
ロッキー山脈の宝石

カナディアン・ロッキーのハイライト―レイク・ルイーズからさらに山道を登ったところにあるのが、モレーン湖。ロッキー山脈の宝石とたとえられる姿は、まさに壮観。世界一美しい湖としてここをあげる人がたくさんいます。



会員紹介

法人会員

1.氏名
株式会社 ホテル仙台プラザ
2.連絡先
〒980 仙台市青葉区本町二丁目20-1 TEL:022(262)7111
3.職業
ホテル
4.カナダ協会へ一言

私がカナダを好きになったのは1964年、初めてカナダに行ったとき、ケベックからの帰路猛吹雪に遭い、運転していた車も故障して立ち往生したことがありました。その時、助けてくれた人達の親切が身に染みて以来です。

私どもで使うロブスター、サケ等はカナダからの物です。また、カナダには美味しいビーフがあるのも承知しています。人、物の交流もさることながらカナダ産品についての最新の情報を数多く提供してくださるよう期待します。 (代表取締役社長 青木茂之)

個人会員

1.氏名
高橋 明子
2.連絡先
〒980 仙台市青葉区土樋1-7-10
TEL:022-227-0230
3.職業
田崎真珠㈱仙台店 外商課
4.カナダ協会へ一言

雄大な自然を保有し、都会的で先進的な国カナダには、フレンドリーな人が多く、他民族の人に対しても寛容性がある様に思えます。

私が大学時代にトロント効外にホームスティをした際お会いした多くの方々は、各人自己のルーツを大切にしながら異文化に対しても許容性を持ち、他民族間交流に前向きでした。現在でもホストファミリーとは交流があり、今後も友情は続くことでしょう。文化の面、経済の面、そして親睦の面において相互理解し合える機会を、今後も作って下さることを期待します。

協会からのお知らせ

9月23日に山形県にて「いも煮会」を企画しております。次回号では、当日の楽しい様子をご紹介する予定です。

恒例のクリスマスパーティを12月9日に予定しております。みなさん是非参加して下さいね。

1993年9月発行
発行人／東北日本カナダ協会 The Tohoku Canada－Japan Society
〒980 仙台市青葉区一番町三丁目7－1
東北電力㈱ 地域開発協力部内 TEL022-225-3052(直)
FAX022-227-8390